

施設評価シート（ごみ処理施設）

（平成21年度事業）

施設名	備前一般廃棄物最終処分場		問	担当課(室)	環境課	
			先	職・氏名	係長・古松健二	
所在地	備前市三石2952番地1		電	電話	(0869)64-1821	
			所	所属長職・氏名	課長・森本和成	
建物建設費	314,300 千円	財	国県等補助金	140,000 千円	建設年月	昭和 58 年 10 月
		源	市債・一般財源等	174,300 千円	耐用年数	25 年

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
総合計画上の位置付け	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	施策	14 ごみ処理	事務事業名	02 ごみ処理施設管理事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内事業者		
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。		
施設内容	施設内容	規模	料金体系(直近の改定:平成 年 月)
	最終処分場 (埋立方式:サンドイッチ方式)	埋立面積 10,400㎡ 埋立容積 86,000㎡	H20.4.1 持込料金 100円/10kg
規模	浸出液処理施設 (処理方式:接触酸化・腐黒沈殿・砂濾過・活性炭吸着)	処理規模 80㎡/日	
料金体系			
管理運営方法	<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営	(一部委託の内容)	

経費	項目	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績		単位
		正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員	
人件費	正規職員	1.2 人	7,719	1.0 人	6,542	1.0 人	6,701	人/千円
	臨時職員	1.0 人	2,562	1.0 人	2,607	1.0 人	2,558	人/千円
	維持補修費		1,772		1,622		2,099	千円
	物件費		4,912		5,114		7,403	千円
	その他()							千円
減価償却費			6,275		6,275		6,275	千円
	合計		23,240		22,160		25,036	千円
財源	ごみ処理手数料		2,079		1,990		1,302	千円
	一般財源		21,161		20,170		23,734	千円
人口(備前地域)			27,249		26,802		26,509	人
1人当たりコスト(一般財源)			777		753		895	円
受益者負担率			8.9%		9.0%		5.2%	%

施設の効率性	受益者負担は適正か？	設定受益者負担率 5.2 %	
	<input type="radio"/> 適正である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	一般市民の負担については妥当と考えられるが、事業者ごみについては、近隣の状況、排出抑制の点からも、見直す余地がある。
管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？	<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由	現在の経費は必要最低限の維持管理コストである。

稼働実績	平成21年度 (単位:t、台)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	搬入量	171.6	304.5	212.3	171.4	164.3	122.9	207.3	166.8	423.1	207.7	98.5	163.7	2,414.2
	台数	165	293	228	209	206	161	213	173	296	182	138	190	2,454

平成22年度の状況及び管理運営の改善案	分別区分の拡大、灰のセメント原料化を検討しており、埋立量が大幅に削減できれば業務量の効率化が図れる。
---------------------	--

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成23年度から平成27年度)					
毎年定期的に 必要な修繕費	内容	金額(千円)	今後5年間に 必要となる 大規模改修費	内容	金額(千円)
	施設修繕	2,000		(新たに最終処分場建設の場合)	500,000

判定	<input type="checkbox"/> 全面委託が可能	判定理由	現在の管理運営費は必要最低限の経費である。
	<input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい		

総合コメント	今後、分別の拡大促進、焼却残渣のリサイクル等を実施し、現有施設の延命化を図るとともに、日生最終処分場と併せて合理化、効率化を模索する。
--------	---